

平成19年度 事務事業評価表		担当	市民福祉部 養護老人ホーム		内線等	8004	
事務事業名	入所者の看護・保健衛生事業			事業コード	1. 一般事務事業（ソト事業）		
根拠法令等	老人福祉法			A法令			

総合計画での位置付け

基本目標	3. 健康で安心して暮らせるまちづくり	施策名	高齢者福祉
------	---------------------	-----	-------

事務事業の内容

対象（受益者）	養護老人ホームの
手 段	入所者1人ひとりの健康を損なわないよう、過ごしやすい生活環境を整えていくことにより
想定する成果	1人ひとりの体力を把握し、個人にあった健康づくり、衛生管理面を取得させる。

事業の概要

項 目	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度計画
延通院者数	1,160人	970人	1,010人
延入所者数	9,666人	8,884人	7,634人

成果指標

成果指標名	入所者受診率
成果指標の説明	延通院者数/延入所者数 × 100

事業の進捗状況 （ 一般 会計 ） （単位：千円）

		平成18年度決算（実績）				平成19年度決算（実績）				平成20年度予算（計画）			
成果指標		12.0%				10.9%				13.2%			
成果指標													
事業費	事業費	4,446				4,427				5,823			
	人件費	1,172				1,175				1,203			
	(人数)	正規		非常勤	0.5	正規		非常勤	0.5	正規		非常勤	0.5
	合計	5,618				5,602				7,026			
財源内訳	国	0				0				0			
	県	0				0				0			
	市債	0				0				0			
	その他	2,803				3,148				3,615			
	一般財源	2,815				2,454				3,411			

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	19評価	16評価	19評価	16評価	
達成度	2	2	2	2	入所者の健康状態を把握し、病弱者の早期発見に努め病弱者の介助・看護に努めた。
経済効率性	2	2	2	3	保健衛生面による施設内の環境作り、各管理棟の清掃等、入所者が参加し保健予防及びそれらに係る経費の有効支出に努めた。
事務効率性	2	2	2	2	看護師と寮母との業務調整を図ることに取り、介助通院者の付き添い手助け等スムーズに運ぶことができた。
必要性	2	2	2	2	高齢・病弱化しているため看護・介助する手間が増加してきている。個々の健康状態を把握し早期発見に努めることが必要である。
小計	8	8	8	9	
施策への貢献度	1	-	1	-	奉仕による眼科・歯科検診・身体が健全に生活できるよう、ボランティアの慰問協力を得ている。嘱託医を民間医師に委託しているため、医師所属の病院との親交・交流が深まる。
合計	9	8	9	9	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	B	B	要介護者・有病者の増加に伴い、看護師の指示により、特に病気については適切な予防や対策に、一層の注意をもって対応するように努めた。
------	---	---	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

前回(H16評価時)「今後改善すべき点」として記載した内容及びその実施状況

前回(H16評価時に)記載した「今後改善すべき点」
入所者の寝起きに、ベットが使用するに当たり楽になったことで、さらにベット化に努める。
上記改善点の実施状況
身体的不自由者の身体機能低下者及び認知証者の介助が困難になってきたため、介護施設へ転移をして、身体が安心して、生活環境にあった介助生活が過ごせるようにできた。

今後さらに改善すべき点

高齢化に伴う、認知証、身体不自由者に対して、環境整備を充実した生活環境にしていきたい。

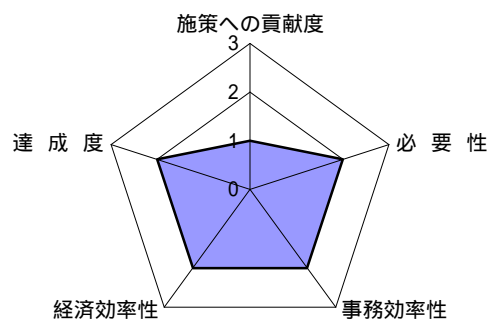
平成21年度予算に反映する項目

今後の方向性

現状維持

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

内部管理事務事業、義務的事業は必要性を、また施策名がその他のものは施策への貢献度を評価していません。



課内評価と部長評価の平均点